

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	緑内障・白内障治療成績に関する研究
研究責任者	聖隷浜松病院 緑内障眼科 部長 朝岡亮
研究実施体制	分担研究者 氏名 所属 肩書 尾花明 聖隷浜松病院 部長 郷渡有子 聖隷浜松病院 主任医長 石井香利 聖隷浜松病院 医師 中澤理紗 聖隷浜松病院 医師 野間沙紀 聖隷浜松病院 医師 守山貴宣 聖隷浜松病院 視能訓練士 藤野友里 聖隷浜松病院 視能訓練士 福與ほなみ 聖隷浜松病院 視能訓練士 三木篤也 愛知医科大学 近視進行抑制寄附講座特任教授・眼科クリニック MiRAI クリニック長
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2025年3月31日
対象者	白内障、緑内障に対し、薬物・レーザー・手術加療を行われた患者さん。
研究の意義・目的	緑内障ではプロスタグランジン製剤、βブロッカー、炭酸脱水阻害剤、交感神経作動薬、Rhoキナーゼ阻害薬などの点眼薬や、線維柱帯光凝固術が奏功しない場合に、線維柱帯切除術は緑内障例において、結膜下に濾過胞を作り、眼内の房水を導出することで眼圧を下げる事が出来ます。線維柱帯切開術は、緑内障例において、線維柱帯を切開することで眼圧下降を得る手術です。あるいは線維柱帯にiStentを挿入して眼圧下降を得る場合もあります。また線維柱帯切除術後に濾過胞が癒着して眼圧の再上昇を来す場合があります。この場合には注射針などで癒着解離を行い眼圧下降を得る場合もあります。また白内障単独手術によっても眼圧が下降することが知られています。 本研究では、これらの点眼、レーザー、手術治療前後に行った眼圧及び角膜生体力学的特性、角膜内皮細胞数、視力、屈折の解析などを行い、比較・解析を行います。
研究の方法	本研究では、点眼、レーザー、手術治療前後に行ったゴールドマン眼圧計、Ocular Response Analyzer (Reichert 社) や Corvis ST (Oculus 社) による眼圧及び角膜生体力学的特性、角膜内皮細胞数、視力、屈折の解析などを行い、比較・解析を行います。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部

	に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 眼科 (氏名) 朝岡亮 TEL:053-474-2222(代表) 眼科外来 9:00~17:00 平日